

12
発言No. _____

受付No. 12

令和7年2月14日

10時18分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、浜田市版地方創生の推進について

- ①施政方針で述べている令和5年度からの若者支援ファンド、これまでの地域おこし協力隊制度などにより、具体的にどのような人口増につながる成果が上がっているのか。
- ②島根県は人口減少が他県よりも大きく、特に社会減が大きく、お隣広島県も社会減が続いているが、この状況に対して地方創生、人口増加施策についてどのように見ているのか。

2、国際交流の推進、外国人観光客の増加策について

- ① 海外との友好都市協定を結んでいる都市との交流は、これまでどう進めてきて今後どう進めるのか。
- ② 外国人観光入込客増に向け、日本海の幸、食、美肌温泉、石見神楽、自然と歴史などそれを磨き観光商品とすることで呼び込めるが、このことについて具体的にどう取り組んできて、今後どう取り組むのか。
- ③市民レベルや民間の取り組みが重要となるが、国際交流協会、日韓親善協会、日中友好協会などの団体の組織化、活性化を進める必要があるが、それら交流団体組織の活動の状況はどうなっていて今後の進め方はどうするのか。

3、広域行政の推進について

- ①広島広域都市圏との交流が進められているが、これにより浜田市にとってどのような資源を売り出し、具体的にどのような交流の実を上げる考えなのか。
- ②高速道路、港湾、空港などの利活用も含め、県西部に成果がもたらされる事業化が必要であり、山口県北東部との具体的な連携交流を含めどのように考えているのか。

4、教育行政の推進について

- ① 一つの指標としての全国学力・学習状況調査結果によると、小学校、中学校とも全国、島根県と比べて浜田市は低いが、これをどのように評価し、教育のあり方をどう改革していくのか。
- ② 小中高生の自殺児童生徒が527人で過去最高とのことであるが、生きる力の育成、一人ひとりを大切にする教育の観点から、どのように教育の改革を進めていくのか、具体的な方針はどうか。
- ③ 教員の不足、教職員の早期退職、時間外労働の多さ、仕事を家庭に持ち帰るなどが問題となっているが、浜田市の場合、現状はどのようになっている、それに対する具体的な対策をどのように立てているのか。

5、歴史文化行政の推進について

- ① 浜田市文化財保存活用地域計画では、石見国府については石見における中心地であった、と触れているが、それを調査する記述がない。もっと浜田の歴史の深さを認識し、石見国府の場所を特定するなどの調査を進めるなど、市の能動的な方針が必要ではないか。
- ② 計画では、文化財把握が不十分、台帳の不備と統一様式での台帳作成、文化財市民調査員の確保、市民からの情報提供、相談窓口、専門家への協力依頼など多くの課題が掲げられているが、具体的にそのための体制をどうつくるのか。
- ③ 北前船寄港地外ノ浦について、さらに構成文化財を追加し付加価値をつける、ストーリー性を高めることが必要であり、郷土史家が指摘している日和山方角石の対岸にある、燈明堂跡について調査する考えはないか。
- ④ 石見神楽の調査研究について、文化財指定に向けた調査、歴史的な関係資料の調査、石見神楽の歴史整理とされているが、その体制はどのようにし、また専門職の参画を求めるのか。